

都市再生整備計画

おごせえきしゅうへんちく
越生駅周辺地区

さいたまけん おごせまち
埼玉県 越生町

平成28年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	おごせまち 越生町	地区名	おごせ まさしほうへんく 越生駅周辺地区	面積	11.5 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

- 大目標 越生駅周辺中心市街地の地域活力を増進し、市街地のコンパクト化を図る
- 小目標① 越生駅に東西を結ぶ自由通路を整備し、市街地連絡機能を強化することにより駅周辺の回遊性・利便性・アクセス性を高め、中心市街地の活性化を図る
- 小目標② 駅東側区画整理地内の土地利用の促進及び定住人口維持寄与
- 小目標③ 「ハイキングのまち」を推奨するための拠点整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

越生町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、首都50km圏内にあり、町の中央を越辺川が貫流しているため地形の変化に富み、町土の約7割を山地が占めている。

鉄道網としては、東武越生線で坂戸駅を経由して池袋まで1時間余りで結ばれ、また、JR八高線により東京都八王子市と群馬県高崎市に結ばれている。路線バスは、越生駅から黒山を結ぶ路線と、ときがわ町から越生駅に乗り入れている路線がある。

越生駅周辺地区は少子化にともなう人口減少や高齢化が進むなか、市街地の規模を拡大する必要性は低い状況にあるが、将来にわたり越生らしさを保持しつつ、首都圏通勤内の豊かな自然環境と調和した快適な住環境として利便性を活かし、魅力あるまちづくりを展開していく必要がある。

こうしたなか、越生駅東側では、住居系の区画整理事業59.6haが完了しているが、越生駅は、西口しか存在せず、区画整理事業を施行した東側の住民が駅を利用する為には、大きく迂回しなければならないという利便性の低い状況が強いられている。また、鉄道が東西の地域を分断してしまっている為、回遊性に乏しく、地域の活性化を妨げる要因となっている。

このような現状を早期に解消するため、町の都市計画マスタープランでは、越生町の都市拠点として「越生町の玄関口である越生駅とその周辺市街地を都市拠点として位置づけ、公共交通の利便性の向上とあわせて、人口と住宅、商業、業務などの各種都市機能の維持・拡充を図り、町の顔となる賑わいのある拠点を目指す。」こととしている。

このようなことから、自由通路を整備し、市街地が一体化し、東側地区の区画整理で整備された地域の活性化を図るとともに、西側の旧市街地に一層の人の流れを取り戻すための波及効果にも繋がり、駅を中心とした市街地の再生を促進する必要がある。

課題

少子化にともなう人口減少や高齢化が進むなか、市街地の規模を拡大する必要性は低い状況にある。しかし、将来にわたり越生らしさを保持しつつ、首都圏通勤内の豊かな自然環境と調和した快適な住宅地としての利便性を活かし、魅力あるまちづくりを展開していく必要がある。

・越生駅は西口しかなく、かつ自由通路も未整備のため、東側の地域と西側の地域が鉄道により分断されてしまっている状況になっており、市街地の活性化を妨げている。

・西口しかない事により、東側の住民が駅を利用するには、歩車道未分離の道路を通行し大きく回りこまなければならない状況にある。

・「ハイキングのまち」を推奨するにあたり、旧駅舎を利用し、おもてなしの拠点として整備する。

将来ビジョン(中長期)

・都市計画マスタープランでは、越生駅周辺地区を都市拠点と位置づけ公共交通の利便性の向上とあわせて、人口と住宅、商業、業務などの各種都市機能の維持・拡大を図り、町の顔となる賑わいのある拠点を目指している。

また、中部地域ゾーンに位置づけ、中心市街地にふさわしい古い街並みを活かした情緒あふれる魅力ある商店街づくりを目指すとともに、観光振興と連携した活力ある商業環境の整備に努めるとともに、周辺環境と調和や自然や緑などの景観に配慮したうるおいと安らぎのある住宅市街地の形成を目指している。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
駅東側へのアクセス時間の短縮	分	東西連絡機能の強化	東側の計画区域にある医療機関や商業施設へのアクセス時間が短縮され、地域住民の利便性の向上を図る。	8	H27	3	H31
定住人口の維持	人	東側区画整理事業地内の定住人口の維持	東西自由通路を整備することにより、区画整理事業で整備された住宅街へ直接乗り入れすることが可能になり土地利用が進み定住人口の維持に繋がる。	1,717	H27	1,717	H31
観光入込客数の増加	人	ハイキングを含め観光入込客数の増加	旧駅舎を観光案内所兼おもてなしの拠点と整備し「ハイキングのまち」また、「おもてなしのまち」として観光客数の増加を図る。	432,159	H26	437,000	H31

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>駅構内に自由通路を整備することにより、東西のネットワークを形成するとともに、駅周辺の商業地域等の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由通路を整備し、市街地が一体化し、東側地区の区画整理で整備された新市街地と西側の旧市街地が一体化し駅を中心とした市街地の活性化を図る 	<p>【基幹事業】 地域生活基盤施設:越生駅自由通路整備事業</p>
<p>東側駅前広場の有効活用により、駅へのアクセス性及び交通機能の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由通路の整備に伴う東口駅前広場の改修を行い、新たな公共交通機関乗り入れを促進し駅の利便性の向上を図る 東口駅前広場に、バリアフリー対応の公衆用トイレを設置し、駅利用者の利便性の向上を図る 	<p>【基幹事業】 道路:越生駅東口駅前広場改修事業 高質空間形成施設:越生駅東口駅前トイレ整備事業</p> <p>【関連事業】 都市計画道路 越生駅通り線改修事業</p>
<p>越生駅(旧駅舎)を利用した観光案内所兼おもてなし拠点の整備を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧駅舎を観光案内所兼おもてなしの拠点とするための改修を図る 	<p>【関連事業】 おもてなし拠点整備事業</p>
<p>その他</p>	

